

■部会 Report

国際部会の活動紹介

国際部会長 土谷 学

鹿島建設(株) 環境本部 新エネルギーグループ長

1. 国際部会の開催

部会を毎月1回開催し、海外団体照会、国際行事、取材、情報発信などを協議した。

JWPA 国際部会は、日本風力エネルギー学会 (JWEA) 国際委員会と GWEC Japan 運営委員会も併催する「合同国際部会」として開催している。

2. 国際部会員他への情報提供

国際部会員に「国際部会ニュース (世界の風力関連情報)」および加盟団体 (GWEC、EWEA、WWEA) からの情報を不定期に情報配信した。国際部会員以外に対しては、風力発電の海外動向、GWEC 理事会、国際会議・展示会等の国際行事への参加報告を、JWPA と JWEA の機関誌に寄稿した。

3. 国際行事への参加

次の6件の国際行事に参加し、②③⑤では日本の風力発電のプレゼン発表を行った。

①AWEA Windpower 2013&GWEC 理事会(5/7 シェンゲン)、②蘭大使館主催再生エネセミナー(6/26 横浜)、③RE2013&日仏海洋セミナー(7/26 東京)、④GWEC 理事会(10/15 北京)、⑤NACE(11/19 京都)、⑥EWEA2014&GWEC 市場開拓会議&EWEA 広報会議(2014/3/11・14 バルセロナ) GWEC 理事会、EWEA 広報会議については本協会誌で別途報告している。

(JWPA News 参照)

4. 海外風力団体への対応

JWPA は GWEC に創設メンバーの一員として理事資格を有するので、積極的に日本代表を派遣して理事会(年2回)と市場開拓会議に参加した。EWEA 広報会議にも参加した。

環境省の騒音 35dB 規制の動きに対して、GWEC 理事会メンバーの RES 社幹部の来日を要請し、環境省上層部への説得への協力を得た。

5. 海外への情報発信

まず、海外団体 (GWEC、WWEA、IEAWind)・コンサル会社 (BTM、MAKE) の年間報告書 (Annual Report) 用に、日本の統計情報とトピックス紹介記事を毎年提供している。

次に、海外団体や海外業界紙 (Windpower Monthly、Recharge 等) からの問合せに対し約 100 件の回答をした。

さらに、JWPA ホームページ英文版を整備。適時、ニューストピックスの英文版を公表した。

6. ウィンドディ行事 (ウィンドディ WG)

世界中で風力発電の認知度を上げるために、GWEC が主導して毎年6月15日を Global Wind Day と定め、風車見学会等の風力発電の啓蒙広報行事を開催している。日本でも 2008 年からこの活動に参加しており、2013 年には寿都町、横浜、掛川、銚子、足利、東京、庄内町、苫前町、六ヶ所村、三種町、北九州、平戸の 12 件を開催した。

今年度の事業計画

平成 25 年度の活動を踏襲しつつ、新しい試みも開始する。

- (1) 海外の大きな国際会議や GWEC・EWEA の行事に参加する。今期は欧米2回とアジア1回以上を予定しており、経費の相応額を JWPA 予算で行う予定。また、これに合せて日本情報の海外紹介も強化する。

今年度はすでに5月に AWEA Windpower 2014 と GWEC 理事会が開催されており、本協会誌ですでに報告している。

(JWPA News 参照)

- (2) 海外団体から招待講演 (交通費を主催者側が負担) の要請があれば基本的には受ける。
- (3) 来日予定の GWEC の Sawyer 事務局長と夕

食会を企画する。

- (4) 海外展示会（ハンブルグメッセ等）への出展や調査団派遣を、希望者があれば国際部会としてもバックアップする。
- (5) ホームページ（英語版）の内容を充実する。日本語版で公表される重要なニュースについては英語に翻訳し英語版にもできるだけ多く掲載する。作業は部会内で分担する。
- (6) 2014 年もウィンドデイ行事を行う。ウィンドデイは風力発電の広報宣伝が目的なので、マスコミへの働きかけを強化する。なお平成 25 年度から理事会社は 1 件以上のイベント参加が義務づけられているので、理事の増員に伴って開催イベント数も増える見込み。
今年度のウィンドデイは既に終了し、別途報告書を掲載している。
（JWPA News を参照）
- (7) 海外情報（トピックス）の調査と部会発表を部会メンバーで分担して定期的実施する。



写真提供：Dong Energy

